

藍住町 議会だより

第72号

平成25年2月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野

字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



赤ちゃん絵本のおみぎかせ会（藍住町立図書館）

目次

12月定例会	P. 2
平成24年度一般会計補正予算	P. 3
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P. 6～10
わたしの一言・議会のうごき	P. 12



毎月第2・第4水曜日午前10時30分から開催しています

12月定例会

12月議会定例会が12月10日から21日までの12日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

町長提案

- 平成24年度一般会計補正予算の専決処分の報告と承認.....原案可決
衆議院議員総選挙の執行に急を要するため、補正予算の専決処分を行ったもの
- 平成24年度一般会計補正予算.....原案可決
- 平成24年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算.....原案可決
- 平成24年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算.....原案可決
- 平成24年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）補正予算.....原案可決
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正.....原案可決
婚姻届などの受理証明書に、法務省令で定める様式による上質紙を用いた場合の
手数料を定めるなどの改正
- 公共下水道第六処理分区南部支線管渠工事（第5工区）の請負契約の締結.....原案可決
請負額 4,902万300円
請負業者 株式会社 大日
- 監査委員選任の同意.....藤原孝信

議員提案

- 藍住町議会委員会条例の一部改正.....原案可決
地方自治法の一部改正（常任委員会、議会運営委員会、特別委員会委員の選任等に
関する事項を条例に委任する改正）に伴い、地方自治法に規定されていた事項を
本町条例に規定するための改正
- 藍住町議会会議規則の一部改正.....原案可決
地方自治法の一部改正に伴い、字句整理を行うための改正

陳

陳情者 一般社団法人 徳島県設備業協会
会長 栗本 利幸

情

陳情者 NPO 子どもと未来四万十
代表 川下 徳之

▼電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い

▼伊方原発の再稼働を行わないことを求める陳情

2件の陳情があり、議員に配付しました。

請

請願者 全日本金者組合徳島県本部
執行委員長 吉本 茂則

願

請願者 非核の政府を求める徳島の会
代表世話人 中村 勸善

●公費負担にもとづく最低保障年金制度の創設を求める意見書採択についての請願

●核兵器禁止条約の締結交渉開始を求める意見書の提出に関する請願書

2件の請願がありました。賛成少数で不採択となりました。

平成 24 年度一般会計補正予算

専決処分(※)

歳入歳出
それぞれ 1,650万円増額

予算
総額 97億3,650万円

～補正の内容～

総務費

◇衆議院議員総選挙費 1,650万円

※専決処分とは？（地方自治法第179条）

町長が議会を招集する時間的余裕がない場合に町長が議会に代わって、議会が議決すべき条例・予算などの案件を処理すること。町長が専決処分をした場合は、次の会議で議会へ報告し、承認を求めなければならない。

12月定例会

歳入歳出
それぞれ 1億7,050万円増額

予算
総額 99億 700万円

～主な補正の内容（1万円未満切り捨て）～

総務費

◇道路照明のLEDへの交換等工事	390万円
◇ハザードマップ等印刷費	341万円

民生費

◇介護保険事業特別会計操出金	1,428万円
◇保育所運營業務委託料	5,400万円

衛生費

◇予防接種健康被害に伴う給付費	527万円
-----------------	-------

農林水産業費

◇一般排水路改良費	1,000万円
-----------	---------

土木費

◇道路簡易舗装費	1,000万円
----------	---------

教育費

◇藍屋敷修繕、資料館通路等整備	600万円
◇新町民体育館舞台幕等購入費	2,460万円

平成24年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	6,180万円	31億6,980万円
介護保険事業	1億1,500万円	20億4,040万円
藍寿苑介護サービス事業	3,720万円	2億9,040万円

町からの主な報告

友好都市交流事業

10月には河北町議会から表敬訪問をいただき、11月22日には友好の翼・河北町町民号が来町。11月16日には、藍住東小学校と河北町谷地中部小学校、石巻市飯野川第一小学校の児童によるインターネット回線を利用したテレビ会議を開催した。今後は「サクランボ・りんご」と「みかん・すだち」の苗木の交換植樹を計画している。

なお、紅染の着物をお贈



藍フェスティバルでの機織り体験

りいただいております。藍の館に展示し、広く町民の皆様にも御覧いただくこととされている。

国民文化祭

「勝瑞フェスティバル」は、勝瑞城館跡において放鷹術の実演をはじめ、茶会や戦国時代の食を復元した弁当の販売等を実施。また、三好氏ゆかりの市町村が集結し、物産展やパネル展示、講演会、シンポジウム等も開催した。藍フェス

ティバル」では、薬をテーマに薬づくりの見学会、薬の品質を鑑定する手板法の実演等を行った。また、平成21年度から群馬県東吾妻町、滋賀県愛荘町とともに実施してきた三町合同企画展を開催し、今まで取り組んできた集大成とし

～がんばる商工業者等の応援施策とは？～

藍住町商工業者チャレンジ支援事業補助金

経営革新支援・創業者等支援

対象者 「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」や徳島県実施の「あったかビジネスパラダイス事業」により、徳島県の承認・認定を受けた経営革新計画・事業計画を実施している町内の商工業者

対象経費 計画実施のための借入利子・機器等リース料・店舗等の家賃

補助金額 対象経費の2分の1（1事業年度につき限度額10万円）

藍住町ユニバーサルなまちづくり事業補助金

店舗等のバリアフリー改修補助

対象者 常時雇用している従業員が20人以下の町内の商工業者

対象施設 飲食店、小売店、診療所、理美容店等のうち、サービス提供に利用する部分（事務所等は含まれない）

対象工事 総額3万円以上のバリアフリー改修工事（新築・改築は対象外）で藍住町に本店のある業者が施行するもの

補助金額 対象工事費用の2分の1（限度額30万円）

て、講演会やディスカッションを実施した。

ゆめタウン徳島

1年間の来客数は約1050万人を超え、ほぼ見込み通りの来客数と聞いている。ゆめタウン徳島は今や本町の勢いを示すシンボリック存在となっており、今後も本町のまちづくりの良きパートナーとして、まちの発展に貢献していただけるものと期待を寄せている。

がんばる商工業者等の応援施策

平成25年度から、経営革新に意欲的な事業所・町内で新たな事業を始める事業所・ユニバーサルなまちづくりを意識的な事業所を支援する経営革新支援制度・創業者支援制度・藍住町ユニバーサルなまちづくり事業の3つの制度を実施する。借入金への利子補給、店舗の家賃補助、店舗等のバリアフリー改修工事費の一部補助を行うものである。

総 体 質 問



完成イメージ図



建設中の新町民体育館

- ★1階アリーナは、バレーボールで3面、バスケットボールで2面、バドミントンで6面の競技が可能
- ★2階観覧席数は536席で、エレベーターを設置予定
- ★災害時には避難施設として使用

問 一般会計補正予算で、町民体育館の備品購入費2460万円を計上しているが、9月補正で舞台装置関係は工事する

答 今回は舞台幕等の購入費であり、9月補正には含まれていない。

のではないか。

津波の浸水想定と防災対策

10月31日に徳島県から津波浸水想定が公表され、新たに勝瑞地区を中心に町内2・1km²が想定浸水区域となった。現在、改訂を進めている地域防災計画やハザードマップには、津波を想定した対策を十分に盛り込み、住民の皆さんの大切な命や財産を守るよう取り組みたい。

11月18日には、東中学校を指定避難所とする住民を対象に防災・避難訓練を実施した。今後も指定避難所ごとに随時開催する予定。このほか、鳴門市と板野郡の1市5町による災害時応援協定の締結についても準備を進めている。

ユネスコスクール

この度、藍住町内4小学校が徳島県で初となるユネスコスクールへの加盟が認定された。同一市町村の全小学校が同時に加盟することは全国的にも珍しいと聞いており、阿波踊りや藍文化体験、正法寺川の環境学習、人参作りや稲作体験等、地域一体型の教育活動が評価されたものである。

公共下水道の現状

早期接続と工事負担額の軽減を目的とした助成金制度改訂の特例期間が9月末で終了した。特例対象者は、平成21年度から平成23年度に供用開始した地区の方々と、公共ます設置件数は636件。うち、下水道に接続いただいた件数は321件、ますベースでの接続率は50.5%となった。なお、全体の接続率は11月末現在45.2%である。また、平成26年度以降の第2期事業計画案については、本年度中に実施設計に入りたいと考えている。

建設現場業務の民間委託

町内6業者による協同組合設立予定者から応募があり、関係職員で構成する選定委員会が審査した結果、この応募者に委託することとした。契約期間は5年とし、平成25年度当初から業務委託をする予定で、経費削減が図られると見込んでいる。サービス内容や手続に変更はなく、従前の現場事務所にスタッフを常駐させるため、災害時や緊急時にもこれまでどおり対応できる態勢である。

特別養護老人ホーム 藍寿苑の今後の運営

11月29日に運営検討委員会の日開野委員長から「質の高い介護・福祉サービスを提供していくためには、介護事業に適確なノウハウを持つ民間事業者に移管することが望ましい。」との答申をいただいた。利用者やご家族の意見にも十分配慮し、民間移管に向けた計画を策定したい。

パルス藍住

先般、高知県競馬組合から、平成25年度から地方競馬で中央競馬の発売が可能となる予定で、パルス藍住では人気の高いレースに限定して発売を開始したい。また、現在、最終レースを概ね午後9時までとしているものを午後9時20分までとしたいとの協議を受けた。これらはパルス藍住の周辺環境に影響を及ぼすものではなく、善良な環境を維持しつつ、売上向上施策を行うものと判断し、同意させていただいた。

～ユネスコスクールとは？～

国連の文化・教育機関であるユネスコが推進している制度。

次代を担う世界各国の子どもや若者が、地球規模での諸問題に積極的に取り組み、ユネスコスクールネットワークを通じて、世界中の学校と交流することで、持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむことを目指している。

～加盟資格は？～

環境教育、国際理解教育、世界遺産や地域の有形無形文化財の理解・継承教育、エネルギー教育など、特色ある教育を継続的に実施している学校であること。

町政のここが聞きたい

一般質問



町道江ノ口新居須線の歩道

道交法改正(自転車の歩道通行の 区別化)に伴う町内道路の見直し

段差の解消を図る

問 対面2車線の町道路における歩道は狭く構造上の起伏が激しい箇所が多い。歩行者でも歩きづらく、車いすが安全に通行できる形態はあまりに少ない状態。自転車、歩行者、車いす、乳母車等、狭いながらも譲りあえば安全に通行できるような町内道路の見直しをすべきではないか。

答 歩道のある町道は6路線あるが、幅員が狭かったり起伏が激しい箇所がある。適宜段差の解消を図りたい。



東條 義和 議員

いじめ問題の対処と成果

Ⅱ 父兄地域を巻き込んだ

道徳や人権問題

地域や保護者の力を総動員し、いじめ防止に努める

問 教育現場でのいじめ対策については、学校や教育委員会だけでなく、当初から地域警察等、多方面からアドバイスをいただきながら、被害者・加害者の枠に捕らわれず、父兄や地域をもっと巻き込んだ具体的な対策を日ごろからとるべきであり、子ども同士のきずな、子どもと教師のきずな、父兄と学校と地域との在り方を示して安心できる環境の構築が必要である。

答 具体的ないじめ防止策として、警察官OBの青少年対策監、行政対策監による各学校の巡回や地域住民の中から任命した学校支援サポーターが毎日子どもたちの指導や相談に応じている。

更に、板野警察署・教育委員会・学校・西部補導センターの4者合同によるいじめ防止連絡協議会の開催、教育委員会だよりや親学講座を通じて保護者への理解・協力・啓発にも力を入れている。

その他の質問

- ◆ 未完成町道について
- ◆ 町の業務について
- ◆ エネルギー問題について
- ◆ 児童手当、生活保護について

学校等の災害時の体制

スムーズな対応に備える

問 南海トラフの国の指針が示された。災害発生時の学校体制については、警報発令時点での帰宅路及び住宅環境の把握等、各家庭の要望も考慮し、一方的に帰宅させるのではなく、大雨洪水津波に対応した対策、体育館よりも上階への応急的な一時避難体制等、具体的なマニュアルの早期策作成が望まれる。

地震発生時には運動場へ避難し、津波や浸水のおそれがある時は運動場から3階以上へ避難。また、家屋や道路損壊のおそれがある場合は学校に待機させ、情報収集を行い、保護者に連絡して児童等の引渡しを行うこととしている。

現在、台風や洪水マニュアルは作成しているが、地震は発生時・避難訓練のマニュアルのみ作成しており、包括的マニュアルの作成が必要である。

答 暴風警報発令の可能性がある時は、給食の関係や帰宅しても保護者不在の家庭等を考慮し、帰宅時間を決定。メール等で保護者へ連絡している。

町政のここが聞きたい

一般質問

学校給食費とプールの活用について

平成23年度の給食費未納額約118万、
収納率99.2%

問 ①学校給食費の未納状況と対応は。
②就学援助の状況と児童手当からの給食費の天引き状況は。
③水泳授業の位置づけとプールの利用状況は。
④健康増進のために、藍中プールを町民プールと併用し、有効活用してはどうか。
⑤民間のプールに補助金を出して活用してはどうか。

答 ①過去の滞納者約240名には毎年督促。学校と連携し、現年度分の未納解消に努めている。
②平成23年度の就学援助は幼小中学校合計549名で3707万5千円。児童手当からの給食費充当額は、保護者同意により現在までに186万2921円。
③中学校1、2年生で必修。毎年6月20日ごろから約1か月間実施。
④水質管理や監視員等が必要であり現在は考えていない。
⑤補助や連携ができるか調査し、判断したい。



平成24年3月末に完成した藍住中学校プール

問 ある建設業者は、8年間指名願を提出しているが、未だ一度も入札参加の案内がないと言っている。町は指名入札だが、その基準は。
答 指名願を提出していること、過去の建築工事高や経営状況・技術者数等の調査のため県の経営審査を受けていることの2点を参考に建築工事の規模、構造、設計金額等を総合的に判断し指名業者の選定を行っている。

町民の命を守り自然環境エネルギーへ

住宅耐震診断受診率、
耐震化率の向上を図りたい

問 ①巨大地震発生に対して被害を少なくするために、避難ビル・避難タワー等を使う、建物の耐震化率を100%にして家具の転倒防止策等を行う、初期消火等を徹底するなどの対策を講じれば、犠牲者を減らせることを明示している。町の対策として、住宅耐震診断と耐震改修制度の状況等は。
②再生可能エネルギーによる発電所の出力が、原子力発電所1基分の設備容量を上回り、内訳では太陽光発電設備がトップで、このうち

答 ①10月末までの実施件数は、耐震診断が262件、住宅用が約8割を占めている。町民の住宅への太陽光発電の普及策は、



林 茂 議員

耐震改修が23件。耐震診断受診率向上のため、訪問による説明や不在者への案内文書送付、夜間説明会を開催。
②普及策として国の補助金

制度、余剰電力の固定価格買取制度がある。太陽光発電の助成には財源の確保と継続の実施が必要であり、慎重に行う必要がある。

その他の質問

◆平成23年度固定資産税の不納欠損について

指名願提出業者に入札の機会を
徳島県の経営審査が必要

町政のここが聞きたい

一般質問



現在の県道交差点における公共施設標示

防災対策

今後は津波を想定した対策を進めていく

問 ①「地震・津波浸水想定等の講演を」

津波の浸水については、徳島県から10月31日に公表され、藍住町では新たに東部地区、勝瑞を中心に2・1kmが想定浸水区域となった。勝瑞地区の住民の方から浸水区域についての相談があり、県防災センターの所長、担当課長に面会したところ、要請があれば、いつでも出張して説明しますとのことであった。



永濱 茂樹 議員

津波想定浸水区域の住民の方、町民の皆さんにも地震・液状化も含めた、津波浸水も想定した説明の講演を。

②「公共避難場所の標示を県道交差点信号付近に」

毎日、日常目に付く県道信号機の周辺、県道沿い、県道歩道橋上横等に公共避難場所を標示することで、日ごろから避難場所の把握ができると思われる。県へ積極的要請対処を。

答 ①県の浸水想定公表後、これまでに2地区で津波に関する説明を行っている。現在、各地区からの要

望で実施している町担当職員による防災講座を来年度以降も継続したい。また、外部講師による講座についても県防災センターと協議したい。

②県道交差点付近への設置は、設置場所確保や工事方法、費用面等から今すぐの設置は難しいため、まずは避難訓練や避難場所を明示した防災マップの配付で対応したい。また、県道歩道橋への設置については、設置可能かどうか担当機関である県と協議が必要であり、課題として検討したい。

文化の町・あいずみ推進対策
文化の町を推進できるように
関係団体と協議したい



問 藍住町文化協会が来年結成10周年の節目を迎えるに当たり、あいずみ文化祭や藍美展等の日時を統合し、近くの会場で開催することにより、来場者の増加と高齢者、障害者参加対策にもなると思われる。

また、文化祭・藍美展等の県展入賞作品・優秀作品を、庁舎1階ホールや、町内各公共施設に展示出品することで、出品された方々の生きがい・心の健康につながるのでは。

答 あいずみ文化祭や藍美展等の統合については、主催である文化協会、美術協会等の意向を十分聞いた上で、町として協力できる点があれば協力したい。
また、庁舎1階ホールや町内各公共施設への展示出品については、各団体で管理していただけるのであればご利用いただきたい。

町政のここが聞きたい

一般質問



平成24年11月15日、「ユネスコスクール加盟認定伝達式」終了後、阿波踊りを披露する藍住東小児童

ユネスコスクール認定について

地域と学校による二人三脚の結果である

問 本町小学校の環境学習や藍染・阿波踊りなどの文化継承の活動が評価され、国連教育科学文化機関・ユネスコにより4小学校がユネスコスクールに同時認定されたことは、大変すばらしく意義深いことです。ユネスコスクールへの今後の取組と教育的効果について尋ねます。

答 期待できる教育効果として、
①潜在的な地域の教育力の顕在化
②子どもたちの自己肯定感の育成
③国際人育成の基礎づくりの3つが挙げられる。

今後は地域と学校の教育協働活動を将来にわたり継続・深化させていくことが課題である。



西岡 恵子 議員

海拔表示について

来年度以降に表示予定

問 徳島県が10月31日に公表した津波想定によると、勝瑞地区を中心に2・1kmが浸水区域と示されました。またゆめタウンへの1年間の乗客数・1050万人とのことですが、本町の地形を知らない多くの方々が本町を訪れている現状です。これらを踏まえ、他の自治体で見かける道路沿いの建物や電柱等の海拔表示は、本町においても日ごろよりの災害への意識啓発につながります。その設置について尋ねます。

答 町内公共施設、津波浸水想定区域内の一時避難場所を中心に、人が多く集まる場所や民間施設、避難路、主要幹線道路等に設置するよう検討したい。

その他の質問

◆ 学校図書について

藍寿苑の民間移管計画について

利用者や入所者等に十分配慮し、計画策定を行いたい

答 検討委員会では、臨時職員が7割近くを占める職員体制・施設の老朽化・公立での経営意義や必要性・経営状況等の問題点について、利用者等の意見も踏まえて議論され、これからの町の負担やより専門的なサービスの実施が必要となることを考えると、民間事業者に移管することが望ましいとの結論に至ったと受け止めています。

問 平成20年度より人件費削減等、業務の効率化を進め、更に業務改善への取組が必要と「藍住町特別養護老人ホーム藍寿苑運営検討委員会」を設置、その答申が11月29日にあったようですが、経緯・内容、また今後のタイムスケジュールについて尋ねます。

また、個人負担金の増額を心配する御家族が多かったが、介護保険制度では負担基準が定められており、これまでと同様のサービス利用であれば大きな変化はないことを御理解いただけたと考えている。
なお、計画案については3月議会中に説明できるよう進めたい。

町政のここが聞きたい

一般質問



歯科衛生士によるブラッシング指導（藍住西小3年）

虫歯対策について

保健センターと連携し
歯磨き教室を開催している

問 町内幼・小・中学校において虫歯の現状と予防対策はどのようにしているか。また、保育所・幼・小・中学校において虫歯予防に効果があるといわれているフッ化ナトリウムの水溶液でうがいする「フッ化物洗口」を実施してはどうか。

答 定期健診の結果、西小学校で28%、東中学校で24%が虫歯と判定されており、保護者へ治療を勧告し、治療結果を学校に提出してもらっている。歯周病

対策についての指導等も行っており、家庭での歯磨き指導のため、啓発プリントやほけんだよりで歯科保健について保護者にも周知を図っている。



小川 幸英 議員

スクールベースでのフッ化物洗口については、劇薬であるフッ化物原液の取扱い方や適切なうがいの指導等もあり慎重に対応したい。

藍中・東中の駐輪場について

東中駐輪場の増設は
学校と相談したい

問 藍中駐輪場建設費用が1億5800万円との事であるが、駐輪場にこれだけの予算を使うのは無駄遣いではないか。この駐輪場は坪いくらか。また、行政として町民の声をどう思っているのか。藍中の駐輪場は約1千台収容でき、全生徒が自転車通学できるが、東中学校では駐輪場が狭く、1km以内の生徒は徒歩通学している。機会均等の意味でも東中学校の駐輪場

を増やし、生徒全員が自転車通学できるようにすべきではないか。

答 藍住中学校の駐輪場の坪単価は約39万円。東中学校の駐輪場は、学校の要望により平成23年度に増設し、徒歩通学を950m以内から700m以内に変更した。現在の徒歩通学者は全校生徒444名のうち92名である。増設の必要があれば検討したい。

答 粗大ごみは、住民の方の利便性を考え、今年度より毎月第3土曜日の午前中も受入れするようにしたが、日曜日については今後の検討課題としたい。また、車のない方に対しては御相談により職員が個別回収しているが、この件については今後更に周知を図っていきたい。

ごみ問題について

指定ごみ袋は強度を
上げた仕様に改善する

問 ごみ袋の取っ手の大部分が、非常に破れやすいが工夫すべきではないか。また、粗大ごみの持込みについて、家族みんなが勤めている家では、1か月に1度ぐらい日曜日に受け付けてほしいとの声があるがどうか。また、車のない方に対しては電話があった場合、職員が取りに行くとの事であったが多くの町民は知らないのではないか。広報等で周知すべきではないか。

その他の質問

- ◆ 商工業振興について
- ◆ 防災対策について

定例会案内

次の定例会は3月です。
次号は5月に発行します。
～お問い合わせ～
議会事務局 ☎637-3127

本会議を 傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができ、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関するご意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
- ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③ 字数は500字以内。
- ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。



藤原 孝信 氏

藤原監査委員の再任に同意

平成24年12月24日の任期満了に伴い、12月定例会にて藤原孝信氏の再任に同意しました。
任期は平成28年12月24日までです。

議員研修報告

市町村議会議員特別セミナー

11月21日～22日に全国市町村国際文化研修所(滋賀県)で開催され、本町議会からは2名の議員が参加しました。

〈参加議員〉

奥村 晴明 議員

東條 義和 議員

〈内 容〉

- ★「活気のあるまちへの挑戦～リーダーに必要なもの～」
(株) よしもとクリエイティブエージェンシー専務取締役
竹中 功 氏
- ★「地域の再生に必要なもの」
同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
新川 達郎 氏
- ★「地域の再生と活性化～市民が豊かになる地域再生策～」
地域再生プランナー 久繁 哲之介 氏
- ★「まちの文化人類学～住み続けたいまちとは～」
東京大学名誉教授 船曳 建夫 氏



～西岡恵子議員の処分取消請求訴訟～

地裁判決を受け、議会が控訴

町内に生活の実態がないため被選挙権を有しないとする議会の議決により、前任期において失職した西岡恵子議員が、議会の議決の取り消しを求めた訴訟の判決が平成24年11月30日徳島地方裁判所であり、議会の議決を取り消す決定が下されました。

本町議会はこの判決を不服として、高松高等裁判所に控訴しています。

わたしの一言

矢上 平野 治平さん

「花茨釣れてくる鮎のまなこの美しき」 かの有名な藍住町出身橋本夢道の俳句です。花と緑と太陽の町、ほぼ中心部を流れる正法寺川公園、整備された遊歩道の兩岸を結ぶ木造橋、阿波の名橋として君臨する「みどり橋」。そのたもとにどっしりと立つ巨大な青石に、ありし日の夢道のすべてを深々と刻み込まれたのが、かの立派な句碑です。燦々と降りそそぐ太陽の下、そよ風に揺れる樹々のみどり、流れる雲とともに橋と碑、路傍の名もなき花をも包み込んで、川面のさざ波に映えゆらぐ景色の一コマこそ、町の文化のシンボルとしてその高さを誇示しています。町の発展とともに「広報あいずみ」、「ネットワークあい」又は新聞紙上で俳句短歌等々を拝見する機会が多くなりました。25年新春早々徳新紙上で俳壇賞、柳壇賞を受賞された方々、また選者として活躍されている先生こそ町の名誉と誇りです。

県下では人口増につれて優秀な俳人歌人に恵まれた我が藍住町。できることならこれらの文化の輝きを放つ句碑を、永遠に刻む町の宝として、広大な正法寺川畔にウォーキングを楽しみ、憩いの場として夢道に続く第二第三の句碑の出現を願う一人です。建立への門扉が大きく開ける道筋を是非お示しいただければ幸至極です。



正法寺川沿いに建てられた橋本夢道句碑

議会のうごき

11月

- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 四国地区町村議会議長会研修会（高松市）
- 11日 藍住町戦没者追悼式
- 12日 資格審査特別委員会
- 14日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 15～16日 議長研修（北海道白老町）
- 板野東部消防組合議会視察研修（岡山県・兵庫県）
- 21～22日 市町村議会議員特別セミナー（滋賀県）
- 27日 徳島県町村議会議長会役員会（徳島市）
- 28日 議会運営委員会
- 29日 藍寿苑運営検討委員会
- 30日 板野郡町議会議長会定例会（北島町）
- 4日 徳島県町村議会議長会定例会（徳島市）
- 5日 資格審査特別委員会
- 6日 藍翠苑祭
- 10日 12月議会定例会開会
- 12日 議会運営委員会
- 議会全員協議会

12月

- 10日 板野東部消防組合消防出初式（北島町）
- 13日 鳴門市正副議長就任挨拶来庁
- 藍住町成人式
- 28日 議会だより編集委員会
- 29日 板野郡町議会議事務局職員研修会
- 31日 徳島県町村議会議長会役員会（徳島市）
- 18日 12月議会定例会一般質問
- 21日 12月議会定例会閉会
- 25日 板野西部青少年補導センター組合議会定例会（板野町）

1月



板野東部消防組合消防出初式

編集後記

新年を迎え誰もが、今年こそはいい年にしたいと願っている。しかし政治・経済・国際問題と日本を取り巻く環境はどの分野も閉塞感で覆われている。

東日本大震災の復興、再生への道も思うように進まず困難な時代、大震災を機に防災、減災意識も高まっている現況、藍住町でも南海巨大地震への備えが急務である。昨年公表された内閣府の被害想定では、県内全域が震度6～7の揺れで、3万1千人が死亡、県の想定では津波浸水面積は201・4kmに及び、藍住町など内陸部にも達するとの予測。町議会としても「熟慮断行」精神で、地方、藍住町議会から「日本再生への確かな一歩」を進めたい。

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 矢部 秀行 |
| 副委員長 | 東 條 義和 |
| 委員 | 西 岡 恵子 |
| 委員 | 永 濱 茂樹 |
| 委員 | 森 志 郎 |